



こころざし

【学校教育目標】
夢の実現に向かって たくましく
挑戦する児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第 7 号

令和6年7月8日発行

文責 校長 多久島 一仁

馬渡小中学校と交流学習をしました

6月26日（水）に馬渡小中学校との交流学習を本校で行いました。馬渡の児童生徒が8：15に加唐港に到着し、出迎えた本校児童生徒と一緒に学校へと向かいました。今回は、それぞれの学年で3時間の授業を行いました。時間割については次のとおりです。

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3
8:30 ～9:15	1	学活		学活 or 道徳		総合		国語		社会
9:30～ 10:15	2	体育（水泳）						理科		数学
10:30～ 11:15	3	道徳		音楽				道徳		

私も授業をいくつか参観しましたが、1時間目の中学3年生の社会では、オビヤ浦へ行き、武寧王についての説明を生徒が行いました。緊張していましたが、とても分かりやすく、上手に説明しました。オビヤ浦に行って驚いたのが、6月1日（土）の武寧王生誕祭の時はゴミがなかったのに、1か月足らずで、たくさんのゴミが漂着していたことです。海洋ゴミを減らすことの大切さを実感しました。

2時間目は1～4年生の体育を参観しました。水温が少し低かったので、最初は体育館で、相手の陣地にあるマークを取るゲームをし、その後、プールでバケツへの水入れ競争や、水中綱引きなどをしました。どれもみんなで協力して競技を楽しんでいました。

その後、5，6年生の総合に参加しました。加唐島のスポットを、順に案内しながら2人が説明しました。最後に行く所が「？」となっていて、どこだろうと、興味津々でしたが、そこは、展望台でした。私も3年目にして初めて行き、眺めのよさと、金毘羅さんや愛宕神社があったことと、灯台を見つけたことに感動しました。

3時間目は3，4年生の音楽を参観しました。「4文字の言葉で3つのリズム（8分音符、4分音符、2分音符）を作る」という学習でした。「うめぼし」などの言葉を、3つのリズム



で表現することができました。

同じく3時間目に、中学生全員（10名）での道徳を参観しました。野村康次郎さんの詩について学習しました。話者は雨をかわいそうと思っているかどうかについて考え、「思っている」「思っていない」に分かれて意見交流をしました。この詩は「私たちが生きていく、すべてのことは、自分自身がこの身で引き受けていかねばならず、誰も代ってくれる者はないということ」を言っています。授業の最後に、坂井先生から、この詩を自分に置き換えて考えたことで、それまで荒れた生活をしていた少年が立ち直った話をされました。母親が交通事故で亡くなり、預けられた先の祖母は入院し、祖父は亡くなり、少年たちを追いつめた父親との辛い生活を送っていました。最初はこの詩を馬鹿にしていた少年が、嫌なことにも自分からぶつかっていき、いただいた命を精一杯生きようと決心したという話を聞いて、どんなに辛いことがあった人でも、立ち直ることができるのだと勇気をもらいました。

授業の後は、港でお見送りをしました。見送りの時に、「また明日ね！」という言葉が何度も聞こえましたが、またすぐにでも会いたいと思えるようなそんな素敵な交流学习になりました。

【野村康次郎さんの詩】

雨はウンコの上にも
おちなければなりません

イヤだといっても
ダメなのです

だれも
かわってくれないのです

悲しい戦争のお話

7月3日（水）の集会で、集団疎開について描かれた『お母ちゃん お母ちゃーん むかえにきて』（作：奥田継夫）の読み聞かせをしました。この本の主人公は、大都会から田舎へ集団疎開でやってきた小学生です。悲しいお話でしたが、子どもたちは真剣に話を聴いてくれました。



主人公は、24時間友達と一緒に、楽しいことも嫌なこともありながら、家族と離れて生活をします。そのうち、シラミがわき、ノミが出て、食べるものが少なくなっていくます。

食べられそうなものは何でも食べました。メダカもキンギョもイナゴもはみがき粉も絵具もカエルもヘビもバンドも土も新聞紙も食べるほどおなかがすいていました。

そのうち主人公はいじめられるようになり、家に帰ろうとしますが、先生たちに捕まってしまう。

大阪空襲で家族が亡くなり、家も無くなり、主人公は一人ぼっちになってしまいます。

これが戦争の現実だと思います。今、世界で戦争や紛争が起きていますが、何の罪もない子どもたちが一番の被害者だと思います。生きる力を身に付ける前に親や家族が亡くなり、何の支えもなく、甘える人もなく、一人で生きていかなければならないなんて、こんなに不幸なことはありません。

戦争は自然災害などと違って、人が起こすものなので、なくすことができるものだと思います。戦争を起こさないためには、私たちみんなが絶対に戦争はしてはならないという気持ちを持ち続けることが大事だと思います。世界中から戦争がなくなって、平和な世の中になることを願っています。

